

共同プレス声明
第5回日タイ・ハイレベル合同委員会（HLJC）
2021年8月11日 テレビ会議方式（仮訳）

2021年8月11日、テレビ会議方式にて、第5回日タイ・ハイレベル合同委員会が開催された。同委員会では、茂木敏充外務大臣とドーン・ポラマツトウィナイ副首相兼外務大臣が共同議長を務めた。両国は、ポスト・コロナへ向けた日タイ間の戦略的な経済連携の強化を見据え、幅広い経済協力上の課題について協議を実施したところ、概要は以下のとおり。

1. 日本のグリーン成長戦略とタイのバイオ・サーキュラー・グリーン（BCG）経済モデルの協調

両国は、バイオ、サーキュラー、グリーンに関する技術及びイノベーションの分野、特にバイオ、農業・食料、電子、素材、ナノテクノロジー、低炭素技術、循環経済のためのエネルギー及び自動車の分野において、カーボンニュートラルの目標達成を目指し、日本のグリーン成長戦略とタイのバイオ・サーキュラー・グリーン（BCG）経済モデルの相乗効果を通じ、経済成長のためのバイオ、サーキュラー、グリーンな開発における協力を強化する意図を確認した。両国は、日本の国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）とタイの国立科学技術開発庁（NSTDA）の間の技術研究開発協力に関する覚書の署名をこの分野における協力強化に向けた前向きな一歩として歓迎した。両国は、安定的なエネルギー供給を確保しつつ、現実的なエネルギー転換を実現するため、国別の状況に即した最も幅広い選択肢を探る努力の重要性を認識しつつ、アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ（AETI）にも沿ったタイにおけるカーボンニュートラルの実現に向けた二国間協力についても歓迎し、カーボンニュートラル達成に向けたASEANの努力を主導する意思を表明した。

2. 貿易、投資、産業育成及びビジネス環境整備の協力

タイ側は、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11協定）への関心を改めて表明し、加入交渉に向けたタイの準備状況を評価するための詳細な調査が実施された旨説明した。右調査の結果とそれに基づく提言は、今般、内閣に報告され、更なる検討が行われる。日本側は、同協定への参加に向けた準備プロセスへの全面的支援を改めて確認した。地域的な包括的経済連携（RCEP）協定に関し、タイ側は、日本による受諾書の寄託を歓迎し、日本側は、タイ側における国内手続の進展を歓迎した。両国は、地域の経済発展とビジネス活動に資するRCEP協定の早期発効と確実な履行の重要性を再確認した。

両国は、（1）日タイにおいて強靱なビジネス環境をもたらす質の高い投資と、特に東部経済回

廊（E E C）において、デジタル・スマート電子機器、保健・福祉、次世代自動車、研究開発及びグリーン・循環経済、並びにスマートシティ及び主要な質の高いインフラといったターゲット産業への投資、（2）リーニIoTによるプラント管理の実施（L I P E）等様々な事業を通じた産業・中小企業支援、（3）アジア・デジタル・トランスフォーメーション（A D X）を含む日本のイニシアティブを通じたスタートアップ、（4）タイにおける高専を通じた人材育成、（5）地域間協力、における協力を強化する意図を表明した。

両国は、郵便協力に関する日本の総務省とタイのデジタル経済・社会省の間の覚書及びL I P Eに関する日本の経済産業省通商政策局及び同省貿易経済協力局とタイの工業省産業振興局及びデジタル経済・社会省デジタル経済振興庁（D E P A）の間の協力に関する覚書の署名を、これらの分野における協力強化に向けた具体的な一歩として歓迎した。

3. 連結性向上、メコン地域開発及び保健分野における協力

両国は、都市鉄道レッドライン、バンコク・チェンマイ間高速鉄道、並びにバンコク首都圏都市鉄道新マスタープラン改定（M-MAP 2）等の主要鉄道開発事業やバンサー・スマートシティ、道路交通協力を通じ、タイの交通システムを含む質の高いインフラ整備において協力を継続する決意を再確認した。

タイ側は、日メコン協力や日本が開発パートナー第一陣として参加するエーヤワディ・チャオプラヤ・メコン経済協力戦略（A C M E C S）、日タイ・パートナーシップ・プログラム・フェーズ3（J T P P 3）の枠組みを通じたメコン地域における日本の建設的な役割を歓迎し、支持した。日本側は、同地域の開発格差解消を支援し、東西経済回廊（E W E C）や南部経済回廊（S E C）沿線の連結性向上を通じてタイと同地域における貿易・投資を喚起し、人材育成を支援し、持続可能な開発と保健分野での協力を促進する意図を再確認した。

両国は、日本の内閣官房健康・医療戦略室、総務省、厚生労働省及び経済産業省とタイの保健省、高等教育・科学・研究・イノベーション省及び工業省の間のヘルスケア分野における協力に関する覚書署名を歓迎し、日本のアジア健康構想とタイの保健分野の政策の相乗効果促進のための協力を強化する意図を表明した。タイ側は、アストラゼネカ・ワクチンの供与、及び日本側が決定した酸素濃縮器の供与やすべての人々にワクチンを届けるためのコールド・チェーン整備のための支援等、新型コロナウイルスの感染を軽減するための日本側からの支援に対し、謝意を表明した。